

命を守る訓練

(R6.9.9)

今回の命を守る訓練は、「地震が起こった際に避難経路の安全が確保できなかった場合を想定し、体育館等への避難をせず各教室で待機する」という、いつもと違った形での訓練を実施しました。

事前に生徒へは連絡をせず、また月曜日の朝のホームルームの時間帯だったこともあり、本当の緊急地震速報だと思った生徒も多かったようですが、落ち着いて机の下へ隠れ、頭を守る行動がとれていました。シェイクアウト訓練の後、ワークシートを用いて、『地震と落雷から身を守る方法』をクイズ形式で学びました。

地震はある日突然起こります。突然のことには体が反応できず、思うように動けなくなってしまうことを実感した生徒も多かったのではないのでしょうか。ぜひ感じたことを忘れずに、日ごろからの訓練やシミュレーションを積み重ね、緊急時に備えてほしいと思います。

【生徒の感想】

「最近では地震や雷の事故が多いので、他人ごとではないと思った。私の席は扇風機の真下なので気を付けたいと思った。本当に起きてしまったときは、放送の指示がないかもしれないので、自分で考えて行動したい。」

「実際に地震が来るときは、今回みたいに突然で気を抜いているときだから、身を守る行動をとっさにできるようにしないといけない。訓練とは全く違うだろうから焦ってしまうだろう。」

「いつもと違っただけで、今日の方が防災について考えられてよかった。他の人の意見を聞いてさらに深く考えられたらと思います。」

